

# 事業計画書

事業名	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業
団体名	なないろのもり

事業概要
------

続くコロナ禍で、子どもの発達期に必要な経験や出会いの機会が奪われている。子ども達が未来に希望を持てるように、子ども達や子育て世代の家庭に寄り添う地域コミュニティを構築し、親子一緒に参加できる、子ども達の楽しい長期休みの思い出づくりの機会や学校と家庭以外の安心できる第3の居場所づくり。

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>昨年に続き子ども達にとって大きな楽しみである学校行事は中止が相次ぐ中で、子ども達は仕方ないと受け入れながら、先行きの見えない不安な毎日を送っています。学校生活でも、友だちとは距離をとり、食事は誰かと目を合わせることもなく、黙って前を向いて食べ、消毒をする…。</p> <p>長期にわたる影響がつもり、以前よりストレスが大きくなって心や体に変化が生じていて、小学生の15%、中学生24%、高校生の30%に中等症のうつの症状がみられたと、国立成育医療研修センターの「コロナ×子どもアンケート」第4回の調査でわかりました。同様に小学4年生以上の保護者の29%も同様の傾向あるそうです。第5回のアンケートではさらに、子ども達の回答で「先生や大人への話しかけやすさ、相談しやすさが減った（51%）」と保護者の回答で「子育てについて気楽に話せる相手や機会が減った（60%）」、「子育てについて相談できる公的な場や機会が減った（72%）」などの回答からも、孤立感が深まっていく中で子育てをしている家庭が増え、子ども達も知らず知らずのうちにストレスを溜め込んでいってしまう状況なのは明らかです。</p> <p>緊急事態宣言下では、予定のイベントの開催がままならず、特に大きなイベントは開催ができておりませんが、今年度より未就園児と保護者を中心とした居場所「おやこのにわ」を数回開催し、来場して下さった方々からは、特に未就園の子ども達の行き場の無さ、また公園に行っても気軽に話せる相手もおらず、感染の不安もあるため、出かけても孤立感が増す。お家に籠もっているため、親子でイライラしてしまう。などと…切実な声を多くいただきました。松戸市が子育てしやすい街であることを、松戸に住む子育て世代全体が実感でき、大人達が楽しんでいる姿を見た子ども達は、安心してのびのび育ち、将来もこの街に住み続けたいと思えるようなプラスの循環を地域から実践していきたいと思っております。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>子ども達の家庭や学校、習い事以外の遊び・学びの場づくりを目的とします。親子一緒に参加できるイベントや居場所を開催し、地域と繋がりをつくる機会を得たり、一緒に楽しい時間を共有することで、子ども達は安心し、親たちは子育ての楽しさを実感できます。閉塞感漂う今こそ、子育てに孤立感を感じずに、子ども達は地域で育つという安心感を得るような、空間や時間を継続して確保していきます。また、今後の感染状況が、どのような状態であっても、安全第一に柔軟に対応できるよう、体制を整えていきます。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>① 親子で一緒に参加できる夏休みワークショップ・夏まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の大人達が講師となるワークショップの開催 (調理・農業・運動・音楽など幅広いジャンルの外部講師4名)</li> <li>・参加方法は各家庭の都合やその時の社会情勢に合わせて選択が可能 (近隣施設での講座・ZOOMを使用したオンライン講座・動画配信など)</li> </ul> <p>② 子ども達と子育て世代の居場所づくり (週1回程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達と親子の遊び場の開催</li> <li>・定期開催をし子育て世代の親子を中心に、地域の人たちもふらっと立ち寄れるような居場所を目指します。</li> </ul> <p>③ 本年度7回目となるクリスマスフェスティバルを今後も継続できるように、地域のイベントとして周知拡散させていく。</p> <p>※各イベント・居場所で ZOOM を使用したオンラインでのおしゃべり会などの交流の選択肢を広げることを試験的に行う。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 837 1394 1406"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～7月</td> <td>イベント準備・講師・スタッフ・会員募集</td> <td>リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備</td> </tr> <tr> <td>7.8月</td> <td>① 夏ワークショップ・夏まつり開催</td> <td>サポセンや近隣の施設など(講師4名・イベントスタッフ5名)</td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>② 居場所の開催</td> <td>椿の庭・サポセンなど(週1回ペース・見守り延べ120名(外部40名内部80名))</td> </tr> <tr> <td>9月～</td> <td>イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知</td> <td>チラシ作成、教育施設や商店を中心に近隣地域への認知を目標</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>③ クリスマスフェスティバル開催</td> <td>サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ5名)</td> </tr> <tr> <td>1～3月</td> <td>ふりかえり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備	7.8月	① 夏ワークショップ・夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師4名・イベントスタッフ5名)	通年	② 居場所の開催	椿の庭・サポセンなど(週1回ペース・見守り延べ120名(外部40名内部80名))	9月～	イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、教育施設や商店を中心に近隣地域への認知を目標	12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ5名)	1～3月	ふりかえり	
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備																				
7.8月	① 夏ワークショップ・夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師4名・イベントスタッフ5名)																				
通年	② 居場所の開催	椿の庭・サポセンなど(週1回ペース・見守り延べ120名(外部40名内部80名))																				
9月～	イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、教育施設や商店を中心に近隣地域への認知を目標																				
12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ5名)																				
1～3月	ふりかえり																					
<p>既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)</p>	<p>引き続き活動を縮小せざるを得ない状況ではありますが、コロナ禍において子ども達がのびのびと楽しく、安全に過ごせる学校や家庭以外の居場所。子育て世代が地域と繋がりをもてる居場所の需要と必要性を実感しています。今までの事業をさらに定着させつつ、また継続的に子ども達と子育て世代の家庭と繋がっていきけるような団体であり続けたいと考えます。そして今後も、社会情勢・地域の声をききながら、柔軟に対応し。場所や環境、形を変えて、イベント・居場所の開催を継続していきたいと思えます。</p>																					
<p>事業の目標</p>	<p>① 夏まつり・ワークショップ延べ参加人数=120人</p> <p>② 居場所延べ参加人数=150人</p> <p>③ クリスマスイベント延べ参加人数=400人</p>																					
<p>今後の展望</p>	<p>この事業を通して、なないろのもりが日常的に子ども達や子育て世代を中心に安心して通える居場所、また地域の様々な年齢層の方々となつながら場所として定着し、年齢も環境も様々な人が集まる場所でコミュニケーション能力を育む機会を持つことで、子ども達は視野を広げのびのびと成長し、親も同様に様々な多様性に目を向ける機会を得ることで、広い視野で子育てでき、我が子の良いところを再発見し、楽しく子育てできる街にしていきたい</p>																					

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 88,000	サポーター年間登録料 個人2000円×18 地域商店3000円×4 企業5000円×8
		¥ 48,000	ワークショップ参加費 800円×60名
		¥ 18,000	夏まつりあそび券300円×60名 18000円
自己資金の合計額 (A)		¥ 154,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 454,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 129,000	ワークショップ講師謝礼15000円×2名 12000円×2名 居場所・見守りスタッフ謝礼1500円×40人 イベントスタッフ謝礼1500円×10名	
	委託料	¥ 40,000	イベント・宣伝チラシデザイン制作費5000円×4 イベント装飾製作費5000円 HP制作・管理5000円 地域新聞折り込み代10000円 (年間リーフレット1500枚・Xmas1500枚)	
	消耗品費	¥ 55,100	プリンターインク7000円×3 イベント消耗品9000円 (ガムテープ養生テープ他) 居場所消耗品5000円 (遊び道具・虫よけスプレー・蚊取り線香他) Xmasイベント装飾9000円 コピー用紙・模造紙1100円 感染防止対策グッズ10000円 (消毒液600円×10本 予備マスク600円×5箱 他)	
	印刷製本費	¥ 39,340	イベントチラシ夏・居場所 各4000枚 (1枚2,145円×8000枚) なないろのもり年間リーフレット・Xmas 各5500枚 折込用含む (1枚2,016円×11000枚)	
	使用料及び賃借料	¥ 148,600	イベント打合せ・準備施設使用 (第一会議室440円×10回) 動画撮影・リハーサル施設使用 (多目的ホール1100円×10h) zoom有料版使用料2200円×6ヶ月 (7月夏ワークショップ、12月Xmas festival、 他4カ月居場所で試験的にオンラインおしゃべり会予定) 居場所フリースペース使用料3000円×40回	
	保険料	¥ 14,560	イベント保険 夏まつり・WS120人×28円 Xmas400人×28円	
	食糧費	¥ 6,400	ワークショップ参加者 飲み物100円×60人 ワークショップ・全講師 飲み物100円×4人	
	対象経費の合計 (D)		¥ 433,000	
	その他経費	報償費	¥ 10,000	見守り内部スタッフ料2000円×5名
食糧費		¥ 6,000	飲み物100円×10名 ボランティア昼食代500円×10名	
交通費		¥ 5,000	交通費1000円×5名	
その他経費の合計 (E)		¥ 21,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 454,000		

**【チェック項目】**

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上である
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり5万円以内であること。